

青い波北陽台



輝き続けるために

教頭 川原 智司

高総体を目前に控えた6月初旬のある日、日没後の暗闇の中、つつじ坂途中の街灯からも光が得られないことを確認し、本校正門を後にしました。間もなくしてテニスコートの横に差し掛かった時、これまで捉えたことのない非常に明るい輝きが目の前に迫ってきました。最初は本校の周辺に居住している方が電灯を照らして近付いてきているのではないかと思い、反射的に身構えましたが、明かりに近づくにつれて「自然光」であることが分かり、しばらくしてそれが「ホタル」により発せられた光であることに気がきました。

私自身がホタルの光を直接目にしたのは、記憶をたどるとMicrosoft社によりWindows95が発売された年(平成7年)以来の約四半世紀ぶりのことであるため、日常生活においてホタルに遭遇するという事を想起することはできませんでした。また、前回、ホタルの光を見た際には、インターネットを用いた通信環境はほとんど普及しておらず、図書館等に足を運んで生物図鑑を開かないとホタルのことについて調べることはできない状況でした。しかし、これから数週間のうちに、生徒の皆さんたちは、学校生活において一人一台パソコンを活用して疑問点と向き合うことができるようになることを申し添えておきます。さらに、本校の周辺において、道路の拡幅工事等により利便性が高まりつつありますが、一方で、本校はホタルが生息することができる自然豊かな環境下にあることを認識することができました。

ところで、ホタルの寿命は1年程度で、水中等で暮らして栄養を蓄える幼虫期が長く、暖かくなると蛹・成虫へと変態し、成虫になってからは2週間程度で命が尽きると言われています。また、ホタルは、幼虫期から発光能力が備わっているものの、その多くは成虫になると口が退化してほとんど水分しかとらなくなることから、幼虫期に蓄えた栄養を使って光を放っており、発光を自らコントロールして光の明滅で他のホタルとコミュニケーションを取っていると考えられています。

「人生100年時代」とされる我が国において、また「予測困難な時代」と言われる近未来において、光を放って輝き続けていくためには、ホタルと同様、成人への成長過程が大きく関わると考えられます。米国の大リーグで活躍した野球選手のイチロー氏は、「準備というのは、言い訳の材料となり得るものを排除していく。そのために考え得るすべてのことをこなしていく。」と述べています。人間の成人の場合は、ホタルの成虫とは異なり、社会の中で様々な学びを続けていくことにより、新たなエネルギーを生み出していくことは不可能ではありませんが、成人となる以前に社会を生き抜いていく上での知力・人間力・体力の基礎作りに励むことがその後の成長に影響を及ぼしていくものと思料します。6月末に実施される期末試験が終わると、今後に向けた準備期間となる夏本番を迎えます。各自がそれぞれ目標を掲げて主体的に汗を流し、そのことが将来の輝きへと転化していく礎となることを期待しています。

令和3年度 第73回 長崎県高校総体 (主な結果)

陸上競技	北九州大会出場者 【男子】 走幅跳 藤家 2位 三段跳 藤家 2位 走高跳 岩坪 2位 8種競技 相川 4位 800m 田中 5位 110mH 前 5位 【女子】 100mH 部原 3位 (北九州大会第5位 インターハイ出場) やり投 中井 6位 走高跳 上原 4位
バレーボール	【男子】 2回戦敗退 【女子】 2回戦敗退
バスケットボール	【男子】 3回戦敗退 【女子】 ベスト8
卓球	【男子】 団体3回戦敗退 個人(シングルス) 4回戦敗退 個人(ダブルス) 桑山・太田、谷川・山本 ともにベスト16 【女子】 団体4回戦敗退 個人(シングルス) 3回戦敗退 (ダブルス) 3回戦敗退
弓道	【男子】 団体系選敗退(8位) 【女子】 団体系選敗退 個人1回戦敗退
剣道	【男子】 団体 予選リーグ敗退 個人1回戦敗退 【女子】 団体 予選リーグ敗退 個人2回戦敗退
サッカー	2回戦敗退
ラグビー	優勝
バドミントン	【男子】 団体1回戦敗退 個人(シングルス)・(ダブルス) 3回戦敗退 【女子】 団体2回戦敗退 個人(シングルス)・(ダブルス) 3回戦敗退
登山	【男子】 優勝 (インターハイ出場) 16大会連続32回目 【女子】 優勝 (インターハイ出場) 3大会連続22回目
ハンドボール	2回戦敗退
テニス	【男子】 団体準優勝 個人(シングルス) 大戸 ベスト8 渡邊、一瀬、中村宗 ベスト16 個人(ダブルス) 大戸・渡邊、一瀬・中村宗 ともにベスト8 【女子】 団体3位 個人(シングルス) 堀端 3位 児島、高見 ともにベスト8 個人(ダブルス) 児島・田中 3位 堀端・内山 ベスト8
水泳	女子100m平泳ぎ 八百山 第5位 九州大会出場
ライフル射撃	女子個人 陶山 第9位



↑ ラグビー部

↓ 登山部



男子テニス部



女子テニス部

理数科 課題研究発表

6月16日(水)長与町民文化ホールにて、第15回長崎県理数科高等学校課題研究発表大会が行われました。本校理数科は「マツバクラゲの群体性ポリプの発見とその生活環について」が最優秀賞、「バイオマス発電～うちで発電できるのか?～」が優秀賞を受賞しました。最優秀賞の班は、長崎県代表として8月にオンライン配信で行われる第23回中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会に出場します。



スマホ・ケータイ安全教室

6月17日(木)にオンラインで実施されました。今年度は、NTTドコモインストラクターの末岡真穂氏を講師としてお迎えし、スマホ・ケータイの安全な使い方についてお話を頂きました。

【生徒の感想：情報流出を防ぐために】

- ・投稿する前に未来のことを考える。
- ・SNS上に個人情報が見えるものは載せたり、書き込んだりしない。

1・2年生校内合唱コンクール代替行事

6月18日(金)に教室・体育館で行われました。1年生は各クラスで劇やダンス・クイズなどの発表を行い、2年生はモザイクアート作成やSDGsワークショップ、ドッジボール大会を行いました。高総体終了後からの短い活動期間でしたが、様々な工夫を凝らし、クラス全員で協力して取り組む姿がみられました。



7月の主な予定

- 1日(木) 1学期末試験 壮行式(野球・吹奏楽部、全国大会・九州大会等) 学年集会(3年) LHR(1・2年)
 - 2日(金) 答案採点日 生徒自学
 - 3日(土) 土曜自学(全学年)
 - 5日(月) 理数科事前学習
 - 8日(木) ⑦校内自学学習会に向けて(3年 1・2年理数科事前学習・理数科講義)
 - 9日(金) 代休(7月10日分) 校外記述模試(3年) 校外記述実力(1・2年)
 - 10日(土) 午前:授業、午後:オープンスクール
 - 11日(日) 校外記述模試(3年)
 - 12日(月) 午前:授業 午後:校内競技大会
 - 13日(火) 校内競技大会
 - 14日(水) 短縮45分授業
 - 16日(金) ⑦班別集会
 - 17日(土) 土曜自学(3年)
 - 20日(火) 午前:短縮45分授業 午後:大掃除 終了式
 - 21日(水) ~30日(金) 授業日設定(全学年)(1・2年は⑥まで)
 - 27日(火) 2年→普通科:総深①~④フィールドワーク 理数科:⑤⑥課題研究
- ※15日(木)・16日(金)・19日(月)・21日(火)は、午前:4時間授業 午後:演習等&三者面談になります。

文理探究科(仮称)の設置

本校では2023年度募集から理数科を廃止し、新たに文理探究科を2クラス新設することになりました。大学入試制度の変化に対応するとともに、今後新たに生じる課題に主体的に取り組み、教科横断的な深い学びを実現していきたいと考えております。皆様のご理解、ご協力の程よろしくお願い致します。

各学年より

1学年主任 林 圭介

「学年活動を終えて」

左記のとおり、合唱コンクールの代替行事として、1年生はミニ文化祭のように、劇・映像作品・ダンス・歌唱・クイズなど、各クラスで工夫を凝らした発表をすることができました。合唱コンクールが中止と決定し、また今年も行事がなく寂しくなるなと思っていたところ、このような行事が実施できることとなり、本当によかったと思います。

発表後の講評でも述べましたが、この行事の一番大切な目的は、生徒自身が企画し、計画を立て、実行し、一つの目標に到達することで、団結を深めていくということでした。一部のクラスで、多少の衝突もあったと聞きましたが、そのようなことも含めて、実際に体験して乗り越えていくことが大事なのです。各クラスの発表を一緒に見るという、楽しい時間を共有したことで、学年としての絆も深まったことと思います。

この後、7月には校内競技大会が予定されています。学校行事も、学業と部活動と同じく、高校生活の三本柱の一つです。楽しみながら、しっかり頑張りましょう。

2学年主任 下村かおり

「合唱コンクールの代わりに」

2年連続で中止となった合唱コンクールの代替行事が行われました。各クラスの合唱コンクール・文化祭実行委員会を中心に「全員で取り組む」をコンセプトに話し合い、モザイクアートを実施することになりました。クラスで準備した写真を元に全員に原稿が割り当てられましたが、色鉛筆で地道に塗りつぶす作業は思っていたよりもハードで、睡眠時間を削って仕上げた人も多かったようです。学年活動の最後に作品と原画を並べて皆で鑑賞した際には、どのクラスの作品も原画の雰囲気が良い具合に醸し出されており、実行委員のコメントも相まって歓声があがっていました。お疲れさまでした。苦労したからこそ味わえた達成感があつたのではないかと思います。頑張った良かったですね。SDGsワークショップでは、動画を視聴しながらグループワークを行うことでSDGsへの理解・意識が高まったのではないのでしょうか。午後のドッジボール大会では、自分たちで試合を運営しながら白熱したゲームが繰り返されていました。あるクラスの実行委員が「今日、学年活動ができて良かった」と話していましたが、これを契機にクラスの和がさらに深まることを期待しています。

さて、次は期末試験です。何事もメリハリが大切です。今度は気持ちを切り替えて学習に勤しみましょう。

3学年主任 守 慶直

「受験は個人戦?団体戦?」

2年ぶりに実施された高総体も無事に終わり、いくつかの部活動を残して3年生は引退しました。完全燃焼できた人、心残りのある人、様々かと思いますが、進路実現という最大の目標に向けて切り替えて頑張っていることでしょうか。授業中の目つきや放課後の質問、学校開放への参加の様子などを見ると、少しずつ意識が変わってきているのかなと思うと同時に、少しずつじゃ間に合わない!もっとガツガツ頑張りたい!と強く思っています。

ところで、『受験は団体戦』とよく言われますが、皆さんはどのように考えていますか。受験をするのは自分自身だし、自分の頑張りがそのまま結果に反映されるので『受験は個人戦』だといった意見も聞こえてきます。もちろん最終的には自分一人での戦いとなりますが、そこに辿り着くまでには自分以外の人の支えや励ましなどがあります。私が特に意識するのは、学年やクラスの雰囲気です。教え合って互いに高め合うことや、周りが頑張っているから自分も頑張ろうといった気持ちを持つことなどが相乗効果を生み、自分だけで頑張る以上の力が備わっていくのではないかと考えます。逆に授業中に居眠りをしたり時間を守らなかったりすることがあれば、周りに悪影響を与えることもあるのが団体戦。みなさんにはそのことも意識してほしいと思います。また、先生たちも団体戦のメンバーです。職員室が質問で賑わい、休日の学校開放にもっと多くの人が参加してくれていることを願っています。

We are always standing by you.